

令和6年

白石市長選挙公約

山田裕一

(令和6年10月20日)

 選挙期間中に印刷して配布することは、公職選挙法で禁じられております。

Mission1 市民の健幸推進

■公設民営化による刈田総合病院の充実した地域医療の提供

令和5年4月1日から公設民営化の市立病院として生まれ変わった刈田総合病院は、「断わらない医療」を経営方針の大きな柱として打ち出し、救急患者の受け入れ急増等に伴った入院患者増加により、病床稼働率が激増しています。（令和6年度は単月の病床稼働率が90%を超えている）その結果、病院の医療収支が大幅に改善し、白石市からの補助金に依存していた病院経営から脱却を果たしました。さらに数年ぶりに白石高校看護科の看護実習を再開し、若い医療人材育成に尽力しています。今後は緊急手術にも対応できる体制を構築し、市民皆様の命と健康を守る砦として更なる地域医療の充実を果たしていきます。

■在宅医療の充実による白石版地域包括ケアシステムの実現

白石市は現在、高齢化の進展により65歳以上で一人で生活している独居高齢者世帯が1,000世帯を超えています。今後の課題は病院に行きたくても行けない市民が増えることが予想されることから在宅医療の充実が必要になると考えます。白石市では本年4月、仙南では初の在宅医療専門の医療法人の誘致に成功しました。今後、この医療法人を中心に医療・介護・福祉・保健、そして行政の連携、強化、充実を図り、白石版地域包括ケアシステムを実現します。

■「道の駅しろいし」と連携したスポーツレクリエーション施設での健幸推進

市民皆様の健康増進と健康寿命延伸に生涯スポーツは欠かせません。「道の駅しろいし」は12haの広大な敷地を有する道の駅として整備いたします。この「道の駅しろいし」のスポーツレクリエーション施設ではアーバンスポーツやニュースポーツなど老若男女が楽しめる施設として整備し、多くの皆様に利用していただき健幸推進を果たします。

■白石市で安心して出産できる環境整備

少子化に歯止めをかけるには安心して子供を産み育てる環境整備が必要と考えます。仙南地域では出産可能な病院等が限られています。刈田総合病院をはじめ市内の素晴らしい小児科医師とも連携し、白石市内で安心して出産できる環境を整備します。

■産学官連携による全世代の健康増進と地域共生社会の実現

本市は仙台大学や東北福祉大学と連携協定を締結し、市民の福祉増進を推進しています。白石市を両大学の学生にフィールドとして提供することで学生が直接、市民と触れ合い様々な地域課題に大学で学んだ知見を活かし、積極的に活動することと合わせ、民間企業からの提案を積極的に取り入れ、産学官連携による全世代の健康増進と地域共生社会の実現を目指します。

Mission2 子育て支援・教育環境の充実

18歳までの医療費の無償化

刈田総合病院を公設公営で運営していた時代は、医業収支赤字補填のために白石市から毎年、多額の補助金を拠出しておりましたが、公設民営化となった刈田総合病院の経営が大幅に改善し、これまで以上の充実した地域医療の展望を見込まれることから、これまで刈田総合病院に拠出していた財源を活用し、早期に18歳までの医療費の無償化を実現します。

幼児教育・保育の無償化の拡充

現在、国が実施している幼児教育・保育の無償化は、0歳～2歳（住民税非課税世帯）、3歳～5歳（全世帯）となっておりますが、0歳～2歳までの全世帯の幼児教育・保育の無償化は子育て支援の充実と少子化対策に繋がると考えられることから、これまで刈田総合病院に拠出していた財源を活用し、幼児教育・保育の無償化の拡充を図ります。

病児・病後児保育環境の整備

公設民営化した刈田総合病院で病児・病後児保育環境を整備し、子育て世代の保護者の皆様が安心して仕事ができる環境を整備し、子育て世代に選ばれる白石市を目指します。

義務教育学校及び認定こども園の整備

義務教育9年間を一貫した質の高い学びの環境を整備し、次世代を担う高い教育環境を整備するとともに幼児教育・保育環境の充実とインクルーシブ教育による多様な価値観を育むことを目指した義務教育学校及び認定こども園の整備を目指します。

子ども第3の居場所事業を推進し、こども食堂の運営を支援

本年3月、NPO法人アスイク様と公益財団法人日本財団様のご支援により、本市に子ども第3の居場所「しろいしきち」がオープンしました。「しろいしきち」は、低所得世帯の子供達に放課後の居場所を提供し、学習サポート、食事や入浴などの生活サポートを行う事業です。公益財団法人日本財団の支援は3年とされているため、4年目以降は白石市が引き継ぎ、本事業を継承するとともに、こども食堂の運営を支援し、未来の宝である全ての子供達の成長を支援します。

Mission3 豊かさを実感できるまちづくり

■ 企業誘致による市民所得向上

白石市は宮城県内14市の中で一人当たり市民所得が下位に低迷しています。全国的には企業進出により、平均市民所得が向上し、地域経済が潤い、地域活性化が顕著になる例が多くなっています。白石市も企業誘致により市民所得向上を勝ち取り、豊かさを実感できるまちづくりを目指します。

■ ふるさと納税返礼品の拡充による地場産業の育成

ふるさと納税は、地域活性化の起爆剤の一つと言われております。私が市長就任時は、年間のふるさと納税額が1,400万円程度でしたが、現在、約5億5,000万円（約40倍）に伸ばすことができました。ふるさと納税は、単に自治体の自主財源が増えるだけでなく、返礼品として地域の農産物や特産品を全国の皆様にお届けすることにより、新たな販路拡大による市民所得向上や事業所の売上げ増加にも寄与しています。ふるさと納税額10億円を目指し、新たな返礼品の拡充や新商品開発を支援し、地場産業育成に尽力し、市民所得向上を目指します。

■ 「道の駅しろいし」での農産物や物産等の販路拡大による市民所得向上

2020年から道の駅は“地方創生・観光を加速する拠点を目指す“「第3ステージ」が進行中の段階とされています。現在、道の駅は目的地となり、多くの方々が道の駅で新鮮な農産物を購入したり、観光客はお土産などの物産を買い求めるために道の駅に足を運んでいます。道の駅のブランド力を最大限に活用し、近隣の道の駅との連携も図り、「道の駅しろいし」での販路拡大を図り、市民所得向上を目指します。

■ 伝統芸能や音楽を活用した文化都市創造

白石市には東北唯一の屋内能楽堂「古典芸能伝承の館 碧水園」があります。野村萬斎さんをはじめ著名な方々の演技を鑑賞することができますが、白石市伝統芸能振興会の皆様などが神楽・日本舞踊・箏曲・能など様々な伝統文化芸能などの振興と次世代への継承を行っております。また、本市には白石市民吹奏楽団があり、各中学校吹奏楽部への指導を行っており、城下町コンサートなどを通して音楽による「まちづくり」に貢献いただいております。このような伝統芸能や音楽を通して生涯学習振興や若いアーティスト育成に力を入れ、文化都市創造を実現します。

■ 白石市の食文化や伝統工芸を次世代に継承

白石温麺は本年3月、文化庁から「100年フード」の認定をいただきました。また私が議員時代に白石温麺の普及促進と地域経済の発展を目指し、議員提案により「奥州白石温麺振興条例」を制定しました。さらに本年開催された第66回全日本こけしコンクールでは、弥治郎系こけし工人の新山真由美工人が内閣総理大臣賞を受賞しました。そして白石和紙 蔵富人は、白石和紙伝承のため、白石産トラフコウゾとトロコアオイで白石和紙を生産しています。このように本市には次世代に継承しなければならない大切な財産がたくさんあります。それらの伝承や継承に白石市として支援をします。

Mission4 選ばれるまち白石を実現

■白石中央スマートインターチェンジの早期整備と

国道4号線4車線化延伸によるダブルネットワークの実現

白石市内の国道4号線は、市内中心部から福島県に向かう区間（大平～越河）は片側1車線になっており、平成26年の豪雪時には、越河地区の県境付近で車両がスタックしてしまい、越河から岩沼市まで40時間以上の大渋滞が発生しました。冬季間、宮城県内の高速道路で通行止めが発生する頻度が最も高いのは白石IC-国見IC区間です。また、物流のスムーズな流れの確保は経済活動には大変重要です。現在、ボトルネックになっている国道4号線の大平～越河区間の4車線化は、白石市の企業誘致にも大きな拍車をかけることも望まれることから白石中央スマートインターチェンジの早期整備と国道4号線4車線化延伸によるダブルネットワークの実現を目指します。

■宮城初の「防災道の駅」整備と白石消防署の連携による地域防災力の向上

本年は元日から能登半島で大地震が発生し、全国各地で大雨や台風により甚大が被害が発生しています。近年、白石市でも東日本大震災や令和元年東日本台風、令和3年、令和4年福島県沖地震などの自然災害の猛威により甚大な被害が発生しています。市民の皆様の生命・財産を守り白石市の防災力強化のために宮城県初の「防災道の駅」を整備し、老朽化している白石消防署を「道の駅しろいし」の北側に移転し、仙南地域広域行政事務組合で最大規模の白石消防署を整備し、白石市の防災力の強化を図ります。

■無電柱化推進により高齢者や障害者にとって安全・快適な通行空間を実現

白石市の玄関であるJR白石駅から白石城までの商店街は歩道が狭く、高齢者や障害者にとって歩きにくい空間になっています。また、全国でたった5城しかない木造復元の白石城への景観も電柱に遮られています。無電柱化推進は、高齢者や障害者にとって安全・快適な通行空間を実現するだけでなく、観光客にとって街中を回遊する動機付けにもなると言われています。本市には白石城以外にも武家屋敷や沢端川など全国に誇れる素晴らしい観光資源があることから、これらの施設をゆっくりご覧いただき地域経済活性化も目指し、市中心部の無電柱化を推進します。

■自治体ライドシェアを研究し、様々な角度から市民の足の確保の充実を図ります

高齢化が進んでいる本市にとっての課題は市民の皆様の通院や買い物の足の確保です。市内一部の地域では地域の有志の皆様のご協力により、地域内交通をスタートしています。市民の皆様が住み慣れた地域でいつまでも健康で生活するための足の確保は大変重要です。自治体ライドシェアをはじめ先進事例を研究し、様々な角度から市民の皆様の足の確保の充実を図ります。

■公共施設再配置による白石市の将来ビジョン作成

白石市の公共施設等は老朽化が進んでおり、今後の人口減少社会を考えた場合、公共施設再配置は必要不可欠と考えます。ランニングコストを意識し、持続可能な白石市を創造するためにも公共施設再配置による白石市の将来ビジョン作成します。

結びに

白石市は本年、市政施行70周年を迎えました。この70年間、白石市は大きな飛躍を遂げてまいりました。また様々な自然災害からの猛威にも姉妹都市や友好都市、そして本市を応援くださる多くの皆様の温かいご支援のもと屈強な市民の底力で幾多の困難を乗り越えてまいりました。改めて全ての市民の皆様に関心から深く感謝を申し上げます。

私は、平成28年11月に市長の職を拝命以来、「白石市を将来にわたって持続可能なまち」にしなければならないという強い想いで、市政課題を先送りすることなく、市政改革のための様々な施策に挑戦してまいりましたが、2期目となったこの4年間は、挑戦してきた施策の成果が目に見えてきた4年間だったと思っています。

まずは何といたっても刈田病院です。4年前、私は刈田病院の公設民営化を最も重要な公約として掲げて市長選挙に臨み、市民の皆様のご信任をいただき市民の皆様とのお約束を果たし、刈田病院の公設民営化を実現できたことは、私にとって非常に重要な意味を持つ成果でした。

令和5年4月に公設民営の市立病院として新たなスタートを切った刈田病院は、現在、我々の予想をはるかに上回るスピードで経営の改善が進み、将来にわたって安定した地域医療を確保する見通しを立てることができるようになりました。また、提供される医療の質が格段に向上したことで市民の皆様から多数のお褒めの言葉をいただくことから、この病院改革が間違っていなかったことを確信しているところです。途中、紆余曲折もあり、ご心配もおかけいたしました。市民の皆様のご理解とご協力によってこの歴史的な病院改革を成功させることができましたことに深く感謝申し上げます。そして、様々な困難に直面しながらも限られた時間の中で想像を超える膨大な事務を処理し、この前例のない施策を実現させた市職員の皆さんにも改めて深く感謝申し上げます。

もう一つ、この4年間で大きく前進したのは本市の教育改革です。令和元年にスタートした本市の教育改革によって、全国学力学習状況調査で市内全ての小中学校が全教科で正答率が県平均以上となるなど、子ども達の学力は目に見えて向上しております。また、令和5年4月には教育機会確保法施行後、全国初のとなる小中一貫の学びの多様化学校「白石きぼう学園」を開校することができました。きぼう学園の卒業生全員が第一志望の高校に合格するなど、しっかりと子ども達の学びの場を確保することができ、児童生徒や保護者からも感謝の声をいただいているところです。さらに、きぼう学園への視察が年間100件を超えるなど、本市の教育改革は日本全国からの注目に留まらず、国際的にも高い評価をいただいております。本市はOECD国際プロジェクトに参加することとなりました。このプロジェクトに参加できるのは日本からは本市と三重県松阪市のみであり、本市にとって大変名誉なことであると同時に、本市の将来を担う子ども達の個別最適な学びの質を向上させる素晴らしい機会になると思っています。これら病院改革と教育改革の成果は、白石市の変化を象徴するものであると思っておりますが、それ以外にもスマートインターチェンジと周辺整備事業など市長就任以来、蒔いてきた改革の種が、ようやく芽を出してまいりました。これまで誰も経験したことがない急速な少子高齢化と人口減少の中にあって、今までのやり方を続けているだけでは白石市を守ることはできません。愛するふるさとを次の世代に繋いでいくためには、白石市を持続可能なまちに変えていかなければならないのです。

一般的に人は変化を嫌うものですので、様々な改革が進んでいくことに不安を抱く方もいるかもしれませんが、本市の病院改革と教育改革の成果を見ていただければ、改革の先に確かな希望の光があることをお分かりいただければと思います。今、ようやく芽を出した改革の流れを止めることなく、しっかりと成長させ、花を咲かせなければなりません。

今後も市政改革の流れを止めることなく、将来にわたって持続可能なまち、「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち白石」を実現するため、積極果敢に挑戦を続けてまいります。市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。